

日本生物高分子学会 2025 年度大会
～生物高分子研究が切り拓く生命科学の新たな地平～

プログラム集

2025 年 8 月 31 日 (日), 9 月 1 日 (月)

大阪工業大学

参加される方へのご案内

日本生物高分子学会 2025 年度大会は、大阪工業大学にて 2025 年 8 月 31 日（日）、9 月 1 日（月）に開催されます。会員・非会員を問わず、多くの方にご参加いただけることを願っております。

主催 日本生物高分子学会
共催 大阪工業大学工学部生命工学科

開催日時

2025 年 8 月 31 日（日）、9 月 1 日（月）
1 日目（31 日）一般講演、評議員会、総会、特別講演、懇親会
2 日目（1 日）一般講演、JBM 編集委員会

会場

大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー 2F セミナー室 203
〒530-8568 大阪市北区茶屋町 1-45
<https://www.oit.ac.jp/oit/facility/institution/>

参加費

- ・参加申込締切：2025 年 8 月 20 日（水） 事前登録をお願いします。
- ・①氏名、②所属、③懇親会への出欠、④e-mail を明記し、taketo.omori@oit.ac.jp までご連絡ください。
- ・件名を「日本生物高分子学会参加申込（申込者の氏名）」としてください。
- ・名札と領収書は会場受付で交付します。
- ・参加費（講演会・懇親会）は下記口座まで振込をお願いします。なお入金いただいた参加費の返却はできませんのであらかじめご了承ください。

参加費	講演会	懇親会
一般会員および非会員	4,000 円	5,000 円
ユニット会員	無料	5,000 円
学生（会員・非会員）	無料	2,000 円

参加費（講演会・懇親会）振込先

中国銀行姫路支店（店番号 602）普通預金 1270263 日本生物高分子学会
郵便振替 口座番号 01370-9-92201 日本生物高分子学会

口頭発表

講演時間 15 分（口頭発表 12 分、質疑応答 2 分、交代 1 分）

講演には液晶プロジェクターを使用します。PC をご持参ください。トラブルが生じた場合に備え USB メモリ内に入れたデータもお持ちください。

優秀発表者

学生と若手研究者の優れた口頭発表に対して Best Presentation Award を授与いたします。受賞者は評議員および座長による採点によって決定します。審査員には会場の受付で参加登録と同時に投票用紙を配布いたします。同じ研究室および共同研究者を審査することはできません。研究内容の優秀さだけでなく、明瞭で分かりやすい、課題を理解しているなど、発表の仕方(Presentation)を中心に評価していただきます。優秀発表者の発表は、2 日目一般発表の終了後に行う予定です。

評議員会

1 日目 (31 日) 12:10 より日本生物高分子学会評議員会を開催いたします。評議員の方はご出席ください。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

総会

1 日目 (31 日) 13:10 より口頭発表会場にて開催いたします。日本生物高分子学会会員の方はご出席ください。

JBM 編集委員会

2 日目 (1 日) 12 : 00 より Journal of Biological Macromolecules 編集委員会を開催いたします。編集委員の方はご出席ください。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

昼食

開催日には大学の食堂は営業していませんが、周辺にはレストラン、カフェなどの飲食店、コンビニやデパートなどの小売店が多数ございますので、ご利用ください。

宿泊

各自で手配していただきますようお願いいたします。

日本生物高分子学会 2025 年度大会実行委員会

委員長 大森勇門 (大阪工業大学)

実行委員 芦高恵美子 (大阪工業大学)、川原幸一 (大阪工業大学)

大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワーへのアクセス



梅田地区主要駅からの所要時間

- ・ JR「大阪」駅から徒歩 5 分
- ・ 地下鉄御堂筋線「梅田」駅から徒歩 5 分
- ・ 地下鉄谷町線「東梅田」駅から徒歩 5 分
- ・ 阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩 3 分
- ・ 阪神電鉄「大阪梅田」駅から徒歩 7 分

OIT 梅田タワーの地下 2 階は連絡通路により、Whity うめだ (<https://whity.osaka-chikagai.jp/floor>) プチシヤンモールと接続されており、上記すべての駅から地上に出ることなく、地下街だけを通してアクセスが可能です。

フロアマップ OIT 梅田タワー 2F



大会スケジュール

第1日：8月31日(日)	
10:25	開会
10:30	一般講演 (セミナー室203)
12:10	評議員会 (セミナー室203)
13:10	総会 (セミナー室203)
13:30	一般講演 (セミナー室203)
16:20	特別講演 (セミナー室203)
16:30	懇親会
18:00	

第2日：9月1日(月)	
10:30	一般講演 (セミナー室203)
11:30	閉会
12:00	JBM編集委員会 (セミナー室203)
13:30	

日本生物高分子学会 2025 年度大会プログラム

2025 年 8 月 31 日（日）、9 月 1 日（月）

8 月 31 日（日）

10:25 開会挨拶（セミナー室 203）

10:30～12:10 一般講演（*優秀発表賞対象演題）

バイオマテリアルとその応用

***1 10:30**

タンパク質と特異的に結合するフェノールポリマーの合成

○西森幹太、外波弘之

大阪工大・院工・化学 環境 生命工学

***2 10:45**

PCL/ゼラチンファイバーマットの足場特性に関する研究

○竹田大悟¹、上村洋介²、外波弘之^{1,2}

¹大阪工大・工・生命工学、²大阪工大・院工・化学 環境 生命工学

***3 11:00**

骨格筋再建のためのコラーゲンスキャフォールドの作製

○藤原 世喜¹、藤里俊哉¹、澤田和也²

¹大阪工大・院工・生命工学 ²大阪成蹊短大・生活デザイン

11:15～11:25 休憩

酵素／タンパク質

***4 11:25**

小胞体関連分解機構の妊娠における生理的機能の解明

○北野日佳理¹、三浦紗也加¹、吉村萌花²、須藤カツ子³、熊谷勝義⁴、藤田英俊^{1,2}

¹大阪工大・院工・生命工学、²大阪工大・工・生命工学、³東京医科大学、⁴人間総合科学大学

***5 11:40**

PQQ 依存性アルドース脱水素酵素における酵素活性向上に関わる構造的基盤の解析

○前野美久¹、櫻庭春彦²、大島敏久³、美川務⁴、里村武範^{5,6}

¹福井大院・工、²香川大・農、³大阪工大・工、⁴理研、⁵福井大学・工、⁶福井大ライフ

***6 11:55**

Structural and mutational analysis of substrate specificity in succinic semialdehyde and glyoxylate reductases

○Toma Rani Majumder¹, Anna Ochi¹, Masao Inoue^{1,2}, Riku Aono¹, Hiroyoshi Matsumura¹, and Hisaaki Mihara¹

¹Coll. Life Sci., Ritsumeikan Univ., ²R-GIRO, Ritsumeikan Univ.

12:10～13:10 評議員会（セミナー室 203）

13:10～13:30 総会 (セミナー室 203)

13:30～16:20 一般講演 (*優秀発表賞対象演題)

酵素／タンパク質

***7 13:30**

納豆菌由来プロテアーゼによる H5N1 型トリインフルエンザウイルスの HA タンパク質の分解

○渡邊香耶¹、袴田佳宏^{1,2}

¹金工大・大学院、²金工大・生命・応用バイオ

***8 13:45**

ウナギ血清毒タンパクの作用部位解明に向けた発現戦略と機能解析の初期評価

○渡辺崇靖¹、横山ゆい¹、中島菜月¹、遠藤綾乃¹、塚田岳大¹、池田聡人²、川崎政人²、守屋俊夫²、千田俊哉²、後藤勝¹

¹東邦大学院・理、²高エネ研・構造生物学研究センター

***9 14:00**

ヒト由来腎臓型グルタミナーゼに対するアデノシンの阻害

○霜崎瑞月、吉宗一晃

日大院・生産工・応化

14:15～14:25 休憩

細胞/生体応答/シグナル伝達

***10 14:25**

エーラス・ダンロス症候群原因遺伝子Tnxb欠損マウスにおけるカテプシンの発現上昇

○西村祐一¹、宮本理紗子²、江村孝介¹、松本健一³、芦高恵美子^{1,2}

¹大阪工大院工生命工学、²大阪工大工生命工学、³島根大総合科学研究支セ

***11 14:40**

エーラス・ダンロス症候群モデルTnxb^{-/-}マウスにおけるCXCL4の発現上昇

○山本裕斗¹、江村孝介¹、川原幸一¹、松本健一²、芦高恵美子¹

¹大阪工大院工生命工学、²島根大総合科学研究支セ

酵素／タンパク質

***12 14:55**

アミロイドβ凝集体に特異的なモノクローナル抗体のエピトープの経時変化

○青山奨、吉宗一晃

日大院・生産工・応化

***13 15:10**

ナスにおけるヒスチジン脱炭酸酵素に関する研究

○久保野稚菜¹、小森博文²、宇野雄一³、新田陽子⁴

¹お茶大・人間文化創成、²香川大・教育・化学、³神戸大・農・資源生命、⁴お茶大・基幹研究院

15:25～15:35 休憩

食品化学の基礎と応用

*14 15:35

食品ロス対策に貢献する食用キノコ廃棄部分の有効活用に関する研究

○小林結子¹、矢口朋恵¹、山下郁美¹、新田陽子²

¹お茶の水女子大学大学院、²お茶の水女子大学基幹研究院

*15 15:50

ミオグロビンの大豆タンパク質製パテに対する嗜好改善効果の検討

○高野はな¹、飯塚ねね²、新田陽子³

¹お茶の水女子大学大学院、²お茶の水女子大学生生活科学部、³お茶の水女子大学基幹研究院

*16 16:05

芳香族アミノ酸デカルボキシラーゼ(AroDC) 活性を促進するローズマリー成分の探索

○李彩陽¹、小平理乃¹、新田陽子²

¹お茶の水女子大学大学院、²お茶の水女子大学基幹研究院

16:20～16:30 休憩

16:30～17:30 特別講演

好熱菌の耐熱性アミノ酸脱水素酵素の機能開発

大島敏久

大阪工大・工・生命工学

18:30～ 懇親会

9月1日（月）

10:30～11:30 一般講演（セミナー室 203）

バイオマテリアルとその応用

17 10:30

マウス胚盤胞の採取方法の検討

○松岡夕萌、野村航平、藤里俊哉

大阪工大・院工・生命工学

18 10:45

マイオカインのカプセル内保持に関する研究

○植永皓成、藤里俊哉

大阪工大・院工・生命工学

19 11:00

電気刺激による三次元培養骨格筋のIL-6分泌

○東野祐多、崎山昂哉、藤里俊哉

大阪工大・院工・生命工学

20 11:15

藻類と動物細胞を用いたサーキュラーセルカルチャーによる培養食料生産

○赤桐 里美、清水 達也

東京女子医科大学・先端生命医科学研究所

11:30 表彰および閉会

12:00～13:00 JBM 編集委員会（セミナー室 203）

一般講演座長一覧

演題番号	座長
1～3	大森 勇門 (大阪工業大学)
4～6	吉宗 一晃 (日本大学)
7～9	新田 陽子 (お茶の水女子大学)
10～11	村井 稔幸 (大阪大学)
12～13	三原 久明 (立命館大学)
14～16	川原 幸一 (大阪工業大学)
17～20	芦高 恵美子 (大阪工業大学)

特別講演座長

大森 勇門 (大阪工業大学)

